

「誠実×情熱×行動」の
スピリットで前へ進む

株式会社福井銀行

取締役会長兼代表執行役

林 正博 氏

トップの *The president's real face* 素顔

vol.10

Profile

昭和32年武生市（現越前市）生まれ。大阪大学経済学部卒業。昭和56年（株）福井銀行入行。平成27年6月取締役兼代表執行役頭取に就任。令和4年6月取締役会長兼代表執行役に就任。
福井商工会議所副会頭の他、福井経済同友会代表幹事などの公職を務める。

DATA

創業：明治32年
電話：0776-24-2030

本社所在地：福井市順化1-1-1
従業員：1,258名

武生高校から大阪大学経済学部に進学。多くの学友に恵まれる中で、中学時代に打ち込んだバレーボールへの想いからバレーボール同好会を設立。関西地区の有名私大の同好会と春・秋のリーグ戦を戦い、ライバル達とのぎを削り、幅広い人脈づくりにも役立った。この同好会は現在でも活動が続いており、OB会の活動も活発で、間も

王子保中学校ではバレー部に所属。厳しい顧問の先生の下で、夜遅くまで練習に励み、エースアタッカーとして、チームを県大会ベスト4に導いた。また、陸上部も兼任し、武生市の連合体育大会では走り幅跳びに加え、当時は中学生でも行われていた三段跳びの選手としても活躍。大会での三段跳びの記録は、当時の市新記録であった。

昭和32年、武生市（現越前市）に生まれる。幼い頃は近くの日野川で魚釣りや、日野山をかけ回る活発な子供だった。

「エースアタッカーとして活躍」

普段、垣間見ることが出来ない福井商工会議所の議員の素顔を探る「トップの素顔」。今回は（株）福井銀行取締役会長兼代表執行役の林正博氏にお話を伺いました。

なく設立から50周年を迎えるという。



林氏が学友達と設立した大阪大学バレーボール同好会は、半世紀近くが経過した現在も、多くの部員が所属し活動が続けている。(写真は同好会ホームページより引用)

休日には自宅の家庭菜園で野菜を育てる傍ら、20年以上にわたり地域のソフトバレーボールチームに所属し、チームメイト達と汗を流している。

また、冬季にはスキートの他、40歳代の後半から始めたというスノーボードを駆り、ウインタースポーツを楽しむ。今後もスポーツは細く長く続けたいと笑顔を見せる。

「地域に貢献できる仕事に」

就職は長男という立場や親の意向も有り、福井に戻る。大学での学び

を活かし、地域に貢献できる仕事に就きたいと(株)福井銀行を選んだ。

初任地は地元の武生支店で、以降、東京国際部や京都など県内外の支店での勤務を経て、平成6年11月には福井中央支店(福井市成和)の開設に携わった。「入行からしばらくは日々の仕事に追われていたが、10年が経過した頃から裁量できることが増え、大きなやりがいを感じられるようになった」と当時を振り返る。

平成15年からは行内に初めて設けられた法務室の室長を任せられた。今でこそ法務部門の担当業務はリーガルチェックやコンプライアンスの遵守など、明確にされているものの、当時は携わるべき分野も不明確だったが、時代の背景もあり、社内での法務部門の存在感を高めていったという。

「県内企業の底力」

平成20年6月に取締役に就任した直後、世界経済をリーマンショックが襲い、「世の中のお金の流れが止まった」と当時の思いを語る。企業に寄り添った支援に奔走する中で新たな発見も有った。県内企業の経営者たちが、厳しい経営環境下でも、柔軟にそしてしたたかに、強みを活かして新製品・新

サービスの開発や提供で変化に対応していく姿に「改めて底力を感じた」という。

平成27年の頭取就任以来、お客様の成長、さらに福井県の発展が福井銀行グループの成長につながるとの理念のもと、そしてそれを支える職員のウェルビーイングを高めることが、ビジョンの達成に不可欠という考えで、経営に取り組んできた。

その中で、北陸新幹線の福井への延伸を大きなチャンスと捉え、延伸の効果を最大化するために駅前の再開発に力を注いできた。まずは、自本店ビルを令和2年に建て替え、さらに福井駅前電車通り「A街区」の再開発プロジェクトを強力に支援し、北陸新幹線開業に合わせて昨年3月に完成させた。その他、県内各駅周辺の再開発にも積極的に関わってきた。

また、グループ会社として観光面を盛り上げる地域商社「ふくいヒトモノデザイン(株)」と、官民連携で福井の価値を共に創るプラットフォーム「ふくアプリ」を運営する「(株)ふくいのデジタル」を(株)福井新聞社と立ち上げ、より豊かな福井県を目指している。今後、交流人口の増加に向けて、まちづくりや観光振興などを通じて魅力ある福井県をサポートしていきたいと話す。

「集大成に向けて」

来年春には、林氏が中心となって6年間にわたり取り組んできた福井銀行と福邦銀行との包括提携「Fプロジェクト」の集大成ともいえる、両行の合併が予定されている。連携の過程では「両行の人心融和と相互理解を最優先に進めてきた」と振り返る林氏。

企業理念である「地域産業の育成・発展と、地域に暮らす人々の豊かな生活の実現」に向けて、これからも「誠実」×「情熱」×「行動」のスピリットで前へと進んでいきたいと意気込みを語ってくれた。



来年春には6年間にわたり取り組んできた「Fプロジェクト」の集大成となる福井銀行・福邦銀行の合併が予定されている